

# 2013年 第1回 エネルギー・システム研究会 気候変動とこれからのエネルギーを考える(1)

日時: 2013年6月26日(水) 13:20~16:40

<参加無料>

これからのエネルギーをどのように考えていくべきでしょうか。最近話題となっているメタンハイドレートは我々の需要を十分満たしてくれる可能性があるのでしょうか。一方、化石燃料の大量消費がもたらす大気中CO<sub>2</sub>濃度の増加は、地球温暖化の原因として排出量の削減が求められています。しかし、最近になって宇宙放射線原因説が話題になっています。その真偽は、これからのエネルギーシステムの在り方にも影響を及ぼすことになりそうです。今回の研究会ではこうした視点から、2名の方々にご講演をいただき、これからのエネルギーシステムを考えるひとつのきっかけにしたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

講演: (1) 木川 栄一 氏 (独)海洋研究開発機構(JAMSTEC) (13:30 - 14:30)  
「メタンハイドレート: 開発の現状と最先端の研究」

(2) 深井 有 氏 中央大学名誉教授 (14:40 - 15:40)  
「気候変動の真因は何か」

総合討論: 「これからのエネルギーを考える」(15:50 - 16:40)

## 会場: 東海大学高輪キャンパス

(駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください)

[http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic\\_map/shared/pdf/takanawa\\_campus.pdf](http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic_map/shared/pdf/takanawa_campus.pdf)



東海大学高輪キャンパス

〒108-8619 東京都港区高輪 2-3-23

※東海大学湘南校舎8-401教室へ  
TV会議システムを用いた配信を行う予定です。

参加申し込み・お問合せ: [energysystem.ap@gmail.com](mailto:energysystem.ap@gmail.com)

東海大学教養学部人間環境学科 内田晴久・小栗和也

企画: 内田晴久、小栗和也、杉山正和(東大工)、岸田俊二(NEC)、藤井克司(東大先端研)